

# Elazzio

---

## SEAT COVER



**MAZDA**  
**MAZDA3 FASTBACK**

専用シートカバー取付説明書

7060/7061

# Clazzio

## SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの  
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

....> **03-04**

シートカバー装着前の注意事項

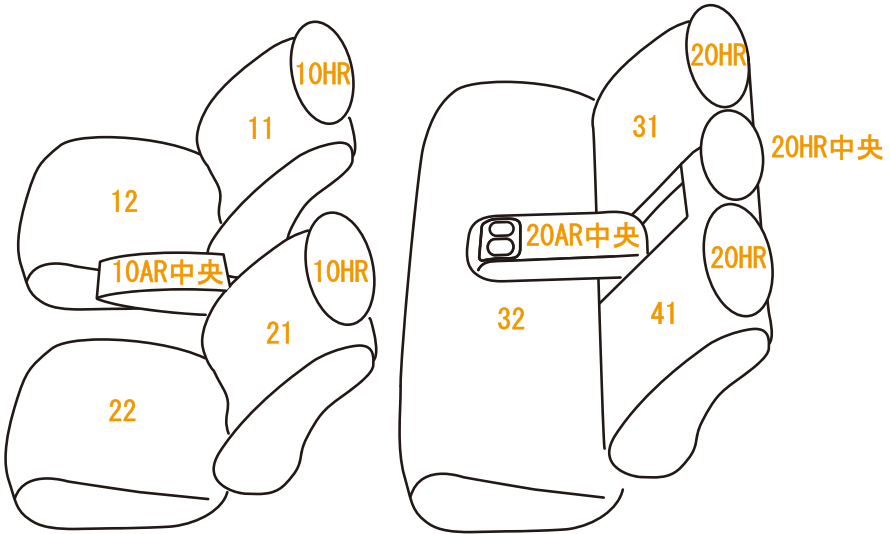
....> **05-30**

シートカバーの装着方法

....> **31-32**

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット : 14mm)
- ② プラスドライバー (No. 2)
- ③ 両面テープ (薄いタイプ) ※無くても可。1列目コンソールカバーの装着の際、必要に応じて使用する
- ④ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィットングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

## Step 1

## …> 1 列目座面の装着方法

※本説明書はパワーシートでの説明ですが、手動シートも同様に取付けます。



- 1 運転席はシートを一番高い状態に調整してカバーの装着を行います。



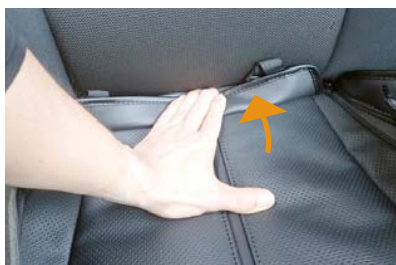
- 4 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。  
この際、生地を引っ張りすぎると2番で合わせたカバーとシートのラインがずれるので、注意して下さい。



- 2 カバーを図のように裏返してシートのラインに合わせます。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



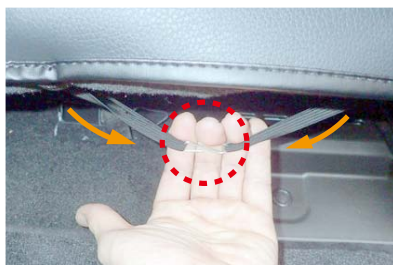
- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、生地が入り込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 6 シートの付け根部分の生地の端にゴムが付いています。



- 7 ゴムとゴムが付いている生地の手をシートの隙間に入れ込みます。シートの形状に沿わせるようにして、生地を入れ込んで下さい。



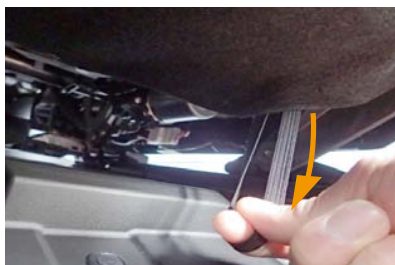
- 10 シートの裏側から引き出したゴム同士を共に寄せ合い、付属の金属フックでつなぐように固定します。



- 8 シート内側も同様に、ゴムとゴムの付いた生地の手をシートの隙間に入れ込みます。



- 11 シートの外側のカバーの端に固定部材が付いています。固定部材を生地と一緒にシートの隙間に入れ込み、プラスチック部のフチに引っ掛けるようにして固定します。



- 9 シートの背面からシートの裏側を写した図です。  
7番・8番で入れ込んだゴムをシートの裏側から引き出します。



- 12 シートの内側も同様に、端に固定部材の付いた生地をシートの隙間に入れ込み固定します。

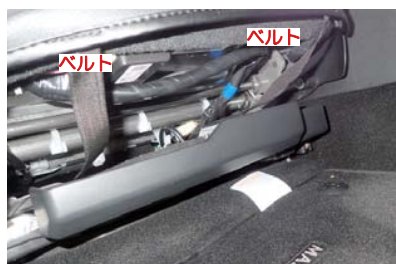




- 13 カバーの前側に付いている2本のベルトをシートの裏側を通してシートの背面へ入れ込みます。



- 16 引き出したベルトを4番で引き出した生地端に付いているバックルに通して固定します。



- 14 シート裏には色々な部品があります。ベルトは、シート裏の部品にできるだけ干渉しない様に、部品の上側を通してください。



- 17 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 15 シートの背面側からベルトを引き出します。



- 18 カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



## Step 2

### …> 1 列目背もたれの装着方法



- 1 カバーの背面に付いているファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 2 シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。  
この際、図の点線部分の突起したシート形状にしっかり生地が沿うようにして、シートをかぶせて下さい。ある程度カバーを装着した後では、調整が難しくなります。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。  
※4番の赤字の説明を先に確認して下さい。



- 4 生地の伸びを利用して台座を取り出します。  
※1 列目背もたれでは、ヘッドレストのロックを解除する台座のボタン部分と、シートの突起している部分の隙間が大変狭い為カバーを装着することで台座のボタンが常に押された状態になる場合があります。この状態ではヘッドレストがしっかり固定できずに危険です。カバーの装着位置を調整して、ボタンを押していない状態になるように調整して下さい。  
調整してもロックを解除するボタンが押されたままの状態になる場合は、ヘッドレストの台座をカバーの加工穴に通さずに使用して下さい。穴位置を合わせていればヘッドレストのシャフトも通せません。ヘッドレストを固定することも問題なくできるようになります。この場合、ヘッドレストのロックを解除するボタンは、カバーの上から押すようになります。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



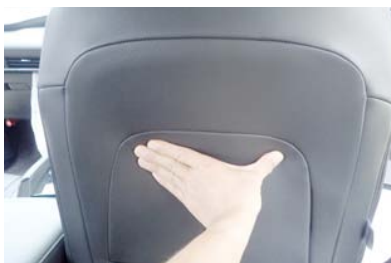
- 7 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を6番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 8 カバー背面の両端に付いているファスナーを、生地を寄せ合いながら慎重に閉じます。この際10番の点に注意して作業を行ってください。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



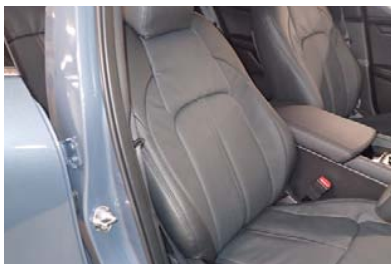
- 9 6番で引き出した生地と、カバーの背面下部分をマジックテープで固定します。



- 10 シートの背面は両手で押さええている位置がくぼんでいます。シートカバーの固定方法では、このくぼみを出すことが困難な為多少浮きます。生地の浮きが斜めに出ている場合は8番のファスナーを開める作業が影響している場合があります。ファスナーを左右均等に引き下げることで改善されます。



- 11 カバーの背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。フックの固定は特に指定の位置はありません。ゴムが適度に引っ張られる位置に引っ掛けて固定して下さい。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席席もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

## Step 3

### …> 2列目座面の装着方法

2列目は背もたれ・座面共に車体からシートを外してカバーの装着を行います。



- 1 シートを車体から外します。  
両端のシートベルトをシートのガイドから  
抜き出します。



- 4 ボルトをソケットレンチなどを使用して外  
します。ソケットは14mmを使用します。



- 2 シートの背面下側からラゲッジ部分にかけ  
て、マジックテープで固定されている生地  
を図のようにめくり上げます。



- 5 ボルトを外したら、まず運転席側のシート  
を車体から外します。図のように手前に引  
くとシートが外れます。助手席側は、まだ  
この状態では車体からシートを外すこと  
ができません。**7番**から続きの説明を確認し  
て下さい。



- 3 生地をめくり上げると図の赤丸の位置にボ  
ルトが4本あります。  
運転席側2本、助手席側2本、それぞれボ  
ルトを外します。



- 6 運転席側のシートを車外の作業ができるス  
ペースへ運び出します。  
シートを運び出す際は車体に傷などを付け  
ないように、慎重に作業を行って下さい。



- 7 助手席側です。助手席側は中央のシートベルトがまだ車体に固定されているため完全には外れません。まず手前にシートを引きます。



- 8 7番の状態から図のようにラゲッジ側へシートを置きます。



- 9 次に座面を車体から外します。図は座面裏のフックの固定を解除しているところです。すでにシートが外れた状態ですがフックの解除方法を先に確認して下さい。図のように受け側の先端にある黒色のつまみ部分を、向かって右側へ押すことでフックのロックが解除されます。



- 10 実際の作業をしている図です。フックはシートに隠れて見えません。シートの裏に指を入れて手探りで作業になります。9番を参考にロックを解除して、シートを軽く持ち上げるとフックが外れます。※ロックが解除できる前にシートを持ち上げると9番のつまみが固くなりロックの解除が難しくなるので、注意して下さい。フックの位置は12番の図を参考して下さい。



- 11 助手席側も同様に作業を行います。



- 12 運転席側、助手席側共にフックを外すと図のようにシートの前側を持ち上げられる状態になります。フックは図の赤丸印の位置にあります。この状態ではまだ車体からシートを外せません。13番からの作業を続けて確認して下さい。

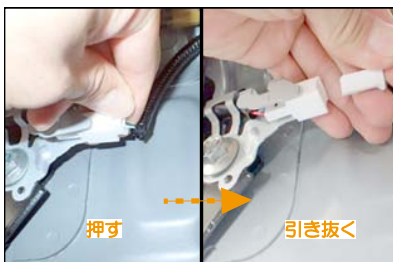




- 13 助手席側背もたれとつながっているシートベルトを車体から外します。



- 16 ボルトを外すとシートベルトの固定が外れます。シートのフチにシートベルトバックルを入れ込みます。



- 14 シートベルトバックルの横につながっている配線を外します。  
左図のカブラ一部分の片側にロックを解除するボタンがあるのでそれを押し、右図のように引き抜くと配線が外れます。



- 17 シートの表側からシートベルトバックルを取り出します。



- 15 シートベルトと車体を固定しているボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。



- 18 助手席背もたれが車体から外れました。シートは作業ができるスペースへ運び出して下さい。シートを運び出す際は車体に傷などを付けないように、慎重に作業を行って下さい。



- 19 図の指で差しているシートの裏側にフックがあり、車体と固定されています。



- 20 ①シートをラゲッジ側に少し押し込み、②シートの付け根を持ち上げるとシート裏のフックが外れます。これでシートと車体の固定が外れました。シートを車外の作業ができるスペースへ運び出します。シートを運び出す際は車体に傷などを付けないように、慎重に作業を行って下さい。



- 21 赤枠で囲んでいるチャイルドシート固定用フックのキャップを外します。  
※この作業はISOFIX対応のチャイルドシートを使用されない方には必要ありません。また、カバーを装着した後でもキャップを外すことは可能です。



- 22 シートカバーを装着していきます。シートの先端部分に引っ掛けるようにして、シートの裏側まで覆うようにかぶせていきます。



- 23 運転席側をかぶせたら、そこを起点に助手席側もかぶせて、シート全体にカバーをかぶせます。



- 24 シートの付け根部分に、生地を巻き込むようにしてカバーをかぶせます。



- 25 シートベルトバックルの収納部にも生地を馴染ませるようにしてカバーをかぶせます。



- 28 カバーの両端から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



- 26 カバーを固定する前の状態です。この状態からシートとカバーのラインを合わせるように調整して下さい。



- 29 作った輪にもう片側のヒモを通します。



- 27 シートを裏返して前後のベルト6本を固定します。



- 30 通したヒモを引くことでカバーの前・左右が引き絞られます。ヒモを緩まないように結び留めます。





- 31 ヒモを結び留めたら、シート裏に回っている生地がしっかりシートの裏を覆っているか確認して下さい。シートの側面辺りで生地が反り返っている場合があります。その場合はシートの裏へ生地が来るように調整して下さい。



- 32 シートベルトバックルを通すシートのフチ部分から、カバーの端に付いているゴムを引き出します。ゴムは運転席側・助手席側にそれぞれ付いています。



- 33 ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 34 金属フックはシートの付け根側に引っ張りシート裏のスポンジ部分からうっすらと見えている金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 35 ゴムは図のように固定されます。



- 36 シートの付け根部分の後ろ側です。カバーの裏側に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。  
※マジックテープが貼り付くシート表皮側は、カバーの生地より範囲が狭くなっているため、あまり強固に固定できる部分ではありません。予めご了承ください。



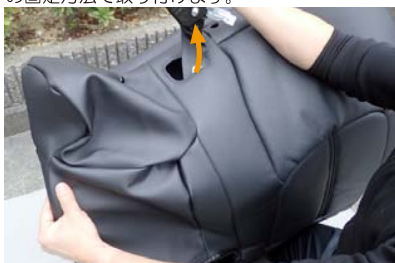
- 37 シート中央の付け根部分の後ろ側も同様にカバーの裏側に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 38 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。  
シートは2列目背もたれカバーを装着後、車体に戻します。

## Step 4 …→ 2列目背もたれ・アームレストの装着方法

2列目背もたれは形状が複雑な助手席側で説明を行っています。運転席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



- 1 中央のシートベルトをカバーの加工穴から取り出します。



- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 2 アームレストをカバーの加工穴から取り出します。



- 5 シートベルトのガイド部分に付いているネジを、ドライバーを使用して締めます。



- 3 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 6 シートベルトのガイドとシートの隙間にへらなどを使用して生地を入れ込みます。



- 7 周りの生地が全て入れ込めたら、生地を挟み込みネジを締め直します。



- 10 アームレストの下側のシートに、生地が馴染むように整えます。



- 8 シートと中央のシートベルトが出ているプラスチック部の隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 11 アームレストの下側から生地を入れ込みます。



- 9 中央のシートベルト部分は図のようになります。



- 12 入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。



- 13 12番で引き出した生地とアームレスト収納部の下側を、マジックテープで固定します。



- 16 シート背面のチャイルドシート固定用フックの位置とカバーの加工穴の位置が合っているかを確認します。ずれている場合はカバーの装着がずれてしまっているので、再度調整して下さい。



- 14 内側面に付いているファスナーを、生地を寄せ合いながら慎重に閉じます。この際、16番のチャイルドシート固定用フックの位置も意識して生地を寄せるようにして下さい。



- 17 カバーの背面下には2本のマジックテープが付いています。まず上側に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 15 図はシート内側のアームレストの軸部分です。ヘラなどを使用してプラスチックパーツの付け根にカバーの端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 18 カバーの端に付いているマジックテープをシートの端に直接貼り付けて固定します。



- 19 ヘラなどを使用してチャイルドシート固定用フックの周りに生地を入れ込みます。



- 20 チャイルドシート固定用フック部分は図のようになります。



- 21 シート側面のシートを車体にロックする部分は図のようになります。  
※この部分に生地が覆いかぶさった状態になっていると、シートを戻した際に生地を挟み込んでしまうので、注意して下さい。



- 22 シートの下側です。純正シート地を固定しているプラスチックパーツの固定を外します。シート背面下側のフック状のプラスチックパーツから、板状のプラスチックパーツを抜き出すように外していきます。外しづらい場合はヘラなどを使用して下さい。



- 23 プラスチックパーツの固定を外している途中の状態です。端が外れると後は容易に外すことができます。



- 24 シート下側のシート表皮の固定を完全に外した状態です。





- 25 固定を外した板状のプラスチックパーツをシート背面下側のシート表皮の内側に入れ込みます。



- 26 シート背面下側のフック状のプラスチックパーツと、カバーの下側の板状のプラスチックパーツを背面側から引き出して固定します。生地の手を図のように折り返して、生地と一緒にカバーのプラスチックパーツを純正のプラスチックパーツに入れ込みます。



- 27 カバーのプラスチックパーツを全て入れ込むと図のようになります。  
※プラスチックパーツの入れ込みが浅いと固定が外れてくる原因になります。しっかりと入れ込んで下さい。



- 28 カバーのラインを整えて、助手席側背もたれの完成です。  
29番からはアームレストのカバーの装着を行います。



- 29 アームレストにカバーを装着します。カバーの入り口を図のように裏返して、アームレストのラインに合わせて、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 30 カバーの裏返していた部分を元に戻して、アームレスト全体にカバーをかぶせます。





- 31 アームレストの下側から生地を入れ込みます。



- 34 ブラフックを固定すると図のようになります。



- 32 アームレストを倒した状態にして、生地を引き出します。  
※この際カバーの端に付いているプラスチックパーツ部分のみを引っ張ると、生地が裂ける恐れがあるので、注意して下さい。



- 35 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 33 アームレストの付け根部分でブラフックを固定します。  
ブラフックの固定方法は27ページの5番の断面図を参考にして下さい。



- 36 生地を全て入れ込むとドリンクホルダー周りは図のようになります。



37 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



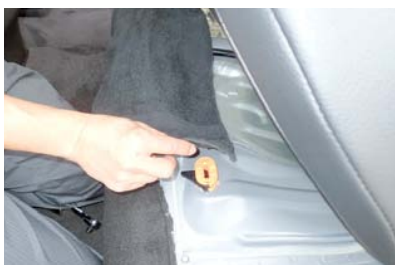
40 座面からシートに戻っていきます。



38 運転席側背もたれもたれも形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



41 シートの後ろ側にあるコの字のフックと車体側のフックの位置を確認します。



39 ここから2列目のシートを車体に戻していきます。  
まず座面を固定する車体側のロックに布などをかぶせて、勝手にシートが固定されないようにしておくことをお勧めします。作業の途中でロックが掛かるとその都度外す必要があるため、手間になります。



42 シートのコの字のフックを車体のフックに引っ掛けて固定します。



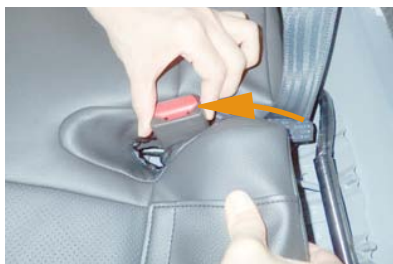
43 シートの裏側からシートベルトバックルを入れ込みます。



46 シートベルトバックルを車体との固定位置に合わせます。



44 シートベルトバックルをシートの表側から引き出します。



47 シートベルトバックルをシートのフチに通します。



45 助手席側の背もたれを図のようにラゲッジ側に置きます。



48 シートの前側を上げて、シートの裏から12ページ14番で外したカブラーを固定します。



49 シートベルトバックルを元通りに固定します。



52 背もたれを車体に固定していきます。背もたれのボルト穴の位置と車体側の固定用具の位置を合わせます。固定用具は両端にあります。左右共に合わせて下さい。



50 シート前側のフックを、車体の受け側のフックの位置と合わせて、上から押し込み固定します。39番の説明通り、車体の受け側に布などをかぶせている場合は、それらを外してから作業を行って下さい。



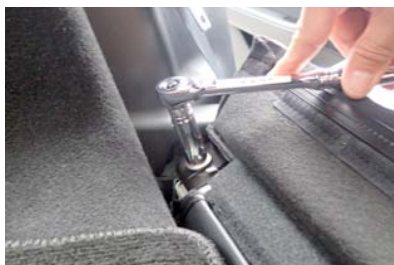
53 背もたれのボルト穴と、車体側の固定用具のボルト穴の位置を合わせます。



51 2列目座面の車体へ戻す作業の完成です。背もたれを戻す際にカバーがずれてくる可能性があります。背もたれを車体に戻してから、カバーのラインを調整しておして下さい。



54 ボルトを固定していきます。ボルトはまず指で締められるところまで締めて下さい。少しでもボルトが斜めに入っていると感じた場合は、作業を止めて穴位置を見直して再度調整して下さい。※いきなり工具を使用すると、斜めにボルトが入っていた場合など、ボルトのネジ山を变形させる恐れがあるので、注意して下さい。



- 55 ボルトを真っ直ぐにある程度固定できれば最後はソケットレンチなどを使用して、しっかりと固定します。



- 56 10ページ2番でめくり上げた生地を、ラゲッジ部分に固定し直します。



- 57 シートベルトガイドにシートベルトを通します。



- 58 カバーのラインを整えて、2列目背もたれ・アームレストの完成です。  
※背もたれを車体に戻す際に、座面カバーの付け根部分がずれてきている場合があります。その場合は、再度カバーのラインを調整して下さい。



- 59 2列目のシートは図のように背もたれを前に倒した状態から、背もたれを起こすと座面側の付け根部分が浮いてくる場合があります。



- 60 その際はシートの付け根部分を押し込み調整して下さい。



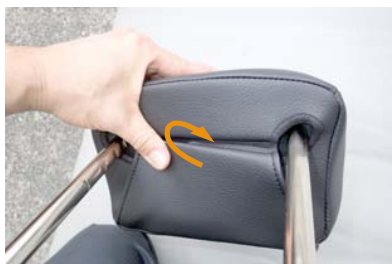
## Step 5

## …→ ヘッドレストの装着方法

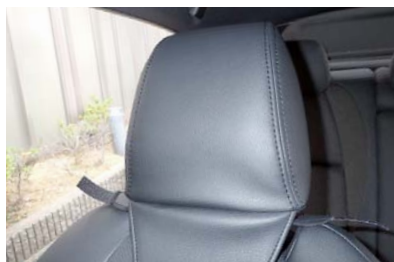
### 1 列目ヘッドレスト



- 1 1列目のヘッドレストです。カバーの入り口を図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせて、先端までしっかりとかぶせます。カバーは平らなブラフックが付いている方が前側になります。



- 4 ヘッドレストの裏でブラフックを固定します。



- 2 カバーの裏返していた部分を元に戻して、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5 ブラフックの固定方法は、フック状のブラフックに板状のブラフックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側のマジックテープを中央へ寄せ合い固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏のマジックテープを中央へ寄せ合い固定します。

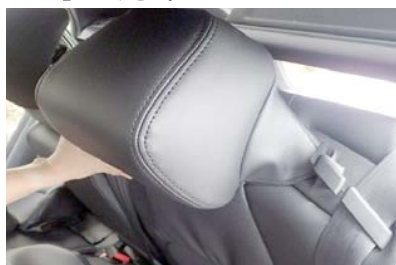
## 2列目ヘッドレスト



- 8 2列目のヘッドレストです。ヘッドレストの先端から後ろ側へカバーをかぶせていきます。  
※先端部分の生地が張るようにしないと後ろ側までカバーがかぶりづらくなるので、注意して下さい。



- 11 ブラックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。  
2列目中央のヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



## Step 6

## …→ コンソールの装着方法

コンソールはカバーを装着する前から質感の高いものになっている為、カバーの装着はお好みに応じて行って下さい。



- 1 コンソールのフタにカバーをかぶせます。図のようにフタの側面に薄手の両面テープを使用することでカバーの装着が行い易くなります。



- 4 側面に両面テープを使用している場合は、コンソールのラインに合わせてカバーを両面テープで仮留めします。この際カバーがずれていると、ずれた状態のままカバーが固定されてしまうので、注意して下さい。



- 2 フタを開けるとネジが4本あります。4本のネジをドライバーを使用して緩めます。この際ネジを完全に外してしまう必要はありません。



- 5 コンソールのフタとフタの裏側のプラスチック部分との隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 3 フタの形状に合わせてカバーをかぶせます。



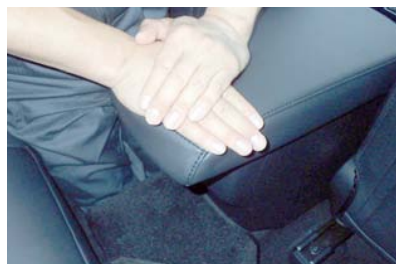
- 6 生地を前側から後ろ側へと徐々に入れ込んでいきます。



- 7 コンソールの後ろ側の図の生地の縫い目部分は、生地を入れ込むのが一番きつくなっています。生地に傷を付けないように、慎重に作業を行って下さい。



- 10 コンソールのフタの前側は図のようになります。



- 8 生地を入れ込んでいるとコンソール裏のツメの固定が外れる場合があります。その場合は全ての生地を入れ込み、図のようにツメの外れた辺りを押し込み固定します。



- 11 コンソールのフタの後ろ側は図のようになります。



- 9 緩めていたネジを全て締め直します。



- 12 カバーのラインを整えて、コンソールの完成です。

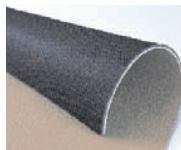


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

### ウルトラスエード

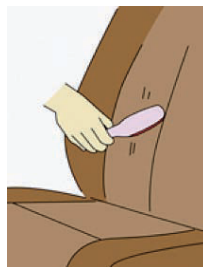
#### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

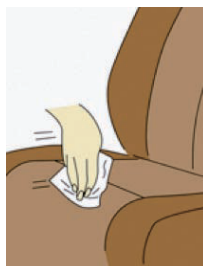
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまうます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816